

FUJITSU 統合業務ソリューション SUPER BENECAI お客様事例紹介 広島電鉄株式会社



【本社】 広島県広島市中区東千田町二丁目9番29号
 【設立】 昭和17年4月10日
 【資本金】 2,335百万円
 【従業員数】 1,305名（2011年9月30日時点）

● お客様



人材管理グループ
労務チーム チーフ
田中 清高 氏



人材管理グループ
労務チーム
山香 賢治 氏

SUPER BENECAI 導入前のご状況についてお聞かせください。

「外部委託では“世の中の変化に対応できない”という思いがあった」

「SUPER BENECAIの導入前は退職給付債務（PBO）計算を外部に委託しておりました。外部に委託している会社ならどこも感じているとは思いますが、外部に委託した場合はコストが高く、計算結果の入手にも相当な時間が掛かっていました。

基礎率を変えた場合や退職金制度を変更した場合などのシミュレーションが自分たちで出来ず、これからの世の中の変化に柔軟に対応できないのではという思いがありました。」

SUPER BENECAIの導入経緯をお聞かせください。

「PBOの動きを“自社内でシミュレーションしたい”」

「PBO計算について漠然とした不安を抱いていたところ、（導入検討当時に）今後想定される退職金制度の見直しにあたり自社内でシミュレーションを行える体制を構築したいという要望が徐々に上がってきました。

そこで、以前から連結会計パッケージでもお付き合いのあった御社のSUPER BENECAI に白羽の矢が立ちました。以前からの御社との繋がりに加え、監査法人から信頼されているパッケージであり監査も通りやすいのではという期待もあったのも事実です。

また、実際にシステムの内容を確認させて頂く過程で、SUPER BENECAIは充分信頼出来るものであると判断致しました。事前に監査法人とも協議を重ね、方針を確定した後の運用となるため本当に安心感があり、これは制度変更時の対応においても同様に感じた点です。」

SUPER BENECAI 導入のメリットをお聞かせください。

「会社の経営政策に“柔軟に”対応」

「導入当初はコスト面にメリットを感じていました。基礎率を変更した場合の試算が気軽に行えることも良かったです。加えて、先日、退職金制度の見直しを行った際には別のメリットも感じました。退職金制度を大掛かりに変えていく時、外部にPBO計算を依頼していたら、制度変更に伴うPBOの変動分析にスピード感を持って対応することができなかったと思います。退職金制度の検討において、事前に計画立てて数値の把握が出来たことが非常に良かったと感じております。

労務関係の部署に所属しておりますので、会社の経営政策に重要な影響のあるPBOの変動分析に柔軟に対応する必要がありました。仮に外部に計算を委託していた場合であっても、『外部にPBO計算を依頼しているから出来ない、分からない。』とはとても言える雰囲気ではなかったため、あらためてSUPER BENECAIを導入して良かったと感じました。」

SUPER BENECALの活用についてお聞かせください。

「“決算から次のステージへ”

「元々はSUPER BENECALについては、決算に必要なPBO関連の数値だけ算定出来れば良いと考えておりましたし、実際、監査法人からもお墨付きをもらえる数値を確実に算定し、様々な帳票が出力出来るSUPER BENECALに満足しておりました。しかし、退職金の制度変更の際、PBOがどのように変動するか膨大な量の試算が必要であり、『明日までに数値を出せ』という厳しい社内の要求にも、即時に計算が行えるSUPER BENECALでは十分に余裕を持って対応していくことが可能でした。

また、社内の中長期計画策定時には、最大20年間の予測が行えるSUPER BENECALのシミュレーション機能が大いに役立ちました。今までは決算数値の算定だけでしたが、退職金制度の見直しや中期計画策定といった会社の経営基盤の中心となる数値の算定に際してSUPER BENECALを活用することで、次のステージへ行けたと感じております。」

SUPER BENECALのサポート対応についてお聞かせください。

「現状は満足度“120%”」

「今後、世の中がどんどん変わっていく中、当社のように退職金の抜本的な見直しを図る会社も多くなると思います。その際に、購入したパッケージをフルに活用出来るようにきちんとしたサポートをして頂ける体制が整っている御社の対応は心強かったです。色々ごちから無理難題をお願いしても、きちんと対応して頂けるので大変助かっております。

また、ユーザー側に立ち各企業の実態に即した運用マニュアルの整備をして頂いているのもありがたいです。ゆくゆくは担当者の交代もありますので、引き継ぎもスムーズに行えると思います。

サポートについては、現状で期待以上のものを受けており満足度は120%です。」

SUPER BENECALに今後期待することをお聞かせください。

「現状でも期待以上のサポートを受けていますので、今後について特別に期待することはありません。今まで同様に必要な時に必要なサポートを今後もご提供頂ければ充分です。SUPER BENECALはこれまでも会計基準改正等の環境変化にいち早く対応されてきていますが、これからも今まで通り、常に最新状況に対応して頂くことを期待しております。」

※ SUPER BENECALとは・・・

決算に必要な退職給付関連数値算定だけでなく、最大20年間の中長期予測機能や各種シミュレーション・分析機能を装備し、導入実績570社を超えるお客様にて決算数値算定及び経営管理ツールとしてご利用頂いている退職給付債務管理パッケージです。国内基準はもとよりIFRSにも対応しており、決算の他、予算管理・事業計画・キャッシュフロー予測・制度変更影響分析・人事管理など幅広い目的で活用可能です。担当制サポートにより通常のサポートのみならず監査対応も安心です。

サポート担当者



富士通Japan株式会社
共通ソリューション開発本部
第三ソリューション事業部
第三ソリューション部
河野 敬一郎

SUPER BENECAL導入から現在まで

- 【退職給付制度】
(導入時) 退職金制度、適格退職年金制度
(現在) 退職金制度、確定給付企業年金制度
- 【監査法人】
有限責任 あずさ監査法人
- 【SUPER BENECAL対応経緯】
2002年 SUPER BENECAL導入
2007年 制度変更 (適年から企業年金への移行)
2010年 制度変更 (退職金改定、定年変更)

お問い合わせ先

富士通Japan株式会社
共通ソリューション開発本部
第三ソリューション事業部
第三ソリューション部 退職給付会計チーム
E-mail : contact-benecal@cs.jp.fujitsu.com

ご案内担当